

ROCKY ROOF CARRIER

SAシリーズ取扱い説明書

品番 / SA-16 プロボックス・サクシード専用

この度は、ロックールーフキャリア「SAシリーズ」をお買い上げいただき、ありがとうございます。
常に安全な状態で、ご使用して頂く為に、「取扱い説明書」をよくお読みの上、ご使用ください。
尚、販売店にて本製品を取付けられましたら、本書を必ずお客様にお渡しください。
製品（組立て・取付け等）についてご不明な点は、お買い求めの販売店又は弊社までお問い合わせください。
誤った組立て、取付け、使用による事故等の責任は一切負いかねますので、ご了承ください。

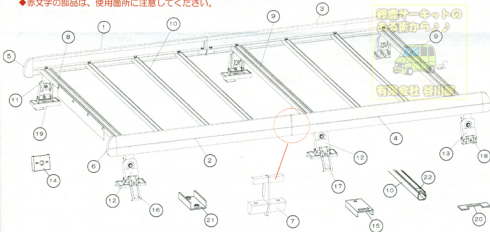
ご使用の前に

- △警告 *車種・年式により、取付くキャリアが異なります。組立て、取付け前に、車種別適用表を再度ご確認ください。
- △警告 *本製品の改造は絶対に行わないで下さい。
本製品の改造による事故責任は一切負いかねますので、ご了承ください。
【例】部品類の穴あけ/溶接等。
市販品のアタッチメントを使用して、荷物(スキー・自転車)を積載する等。
本製品以外の部品による組立て及び、部品交換。
- △警告 *部品不足での使用は絶対に行わないでください。
- △注意 *キャリアを取付けたまま、洗車機にかけないで下さい。
キャリアに無理な力がかかり、屋根の変形等の損傷を車に与えます。

構成パーツ

●構成パーツは、検査済みですが組立てを行う前に必ず、ご確認をしてください。

◆赤字の部品は、使用箇所に注意してください。



No	部品名称	数量	No	部品名称	数量	No	部品名称	数量
①	サイドフレーム短 (前・右)	1	⑩	前・中間用脚セット	4	⑳	六角ボルトセット M6	20
②	サイドフレーム短 (前・左)	1	⑪	後用脚セット	2	㉑	タッピングビス 5ミリ	4
③	サイドフレーム長 (後・右)	1	⑫	ステーナット	6	㉒	キャップボルトセット M6	12
④	サイドフレーム長 (後・左)	1	⑬	ステープレート	6	㉓	キャップボルト M8	6
⑤	先頭キャップ (R)	2	⑭	前用取付けフック	2	㉔	平座金 M8	6
⑥	先頭キャップ (L)	2	⑮	中間用取付けフック	2	㉕	パナ座金 M8	6
⑦	中間ジョイント	2	⑯	後用取付けフック	2	㉖	丸ネジセット M6	6
⑧	脚フレーム横滑板部	1	⑰	前・中間用ベースゴム (TYPE2)	4	㉗	L型レンチ	1
⑨	脚フレーム	2	⑱	ゴムシート	2	㉘	塩ビテープ	6
⑩	脚台フレーム	5	㉑	フットプレート	6			
⑪	脚ステー	6	㉒	クリップナット (必ず両側に取付け済み)	16			

組立て方法

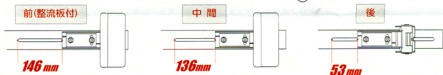
△注意 キャリアの組立て時は滑り止め付軍手を使用してください。

【図-1】

- ⑫前・中間用脚セットには⑩ベースゴムを向きに注意して組付け、⑬後用脚セットには⑭ゴムシートを貼り付けます。(図-1)
- ⑪脚ステアと⑫前・中間用脚セット、⑬後用脚セットを下記の表の位置に合わせて仮組付けをします。(図-1)
※車両に取付ける際に角度調整を行う為必ず⑮キャップボルトM8は仮組付けの状態にしてください。

		前 (左・右)	中間 (左・右)	後 (左・右)
	位置	③	①	③

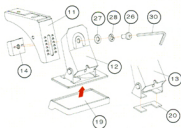
- ⑧脚フレームに⑨ナットプレートを通し、⑫前・中間用脚セット、⑬後用脚セットを⑮ステアプレートに間に挟み⑮キャップボルトM6にて下記の寸法に従って仮組付けをします。(図-2)
※車両に取付ける際に微調整を行う為、必ず仮組付けの状態にしてください。



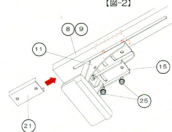
- ①②サイドフレーム短(前/左右)に「3」で組立てた前用脚フレームセット(整流板付)、⑩荷台フレームを⑮六角ボルトセットM6にて組付けます。(図-3)

- 「4」同様に③④サイドフレーム長(後/左右)に⑩荷台フレームと中間用脚フレームセット、後用脚フレームセットを⑮六角ボルトセットM6にて組付けます。(図-4)

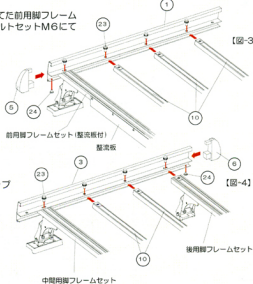
- ①②③④サイドフレーム先端に⑤⑥先端キャップIR/Lを差込み⑮タッピングビス5ミリにて固定します。(図-3/4)



【図-2】

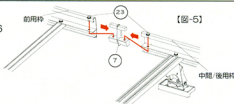


【図-3】



【図-4】

7. [4.]で組立てた前用枠と中間/後用枠を⑦中間ジョイントにて、繋ぎ合わせ六角ボルトセットM6でしっかりと固定します。〔図-5〕



取付け方法

△注意 キャリアの取付け時は、必ず二人以上で行ってください。
ルーフのキズやヘコミ、キャリアの破損の防止になります。

1. 車両後方にある取付け穴のフタ(左右2カ所)を外すと、中に⑮後用取付けフックを引っ掛ける為の金具が装備されているので、取付け穴のフタをカッター等でケガの無いように十分に気を付けて取り除きます。〔図-6〕

△注意 残ったバリ(突起)はケガをする恐れがあるのできれいに取り除いてください。

2. キャリアをルーフの上に載せ、⑮後用脚セットの中心が取付け穴の中心にくるように前後の位置を合わせます。前後の位置を合わせたら、左右の脚部の位置を確認します。前用と中間用は⑮ベースゴムがルーフの凸部が合うようにします。〔図-7-A〕後用は可動ベースが取付け穴のあるモールの端末にきているかを確認します。この時、可動ベースはモールに載せずに沿わせてください。〔図-7-B〕確認後、脚部が指定の位置にある場合は「組立て方法3」で仮組付けの状態にしてある⑯キャップボルトセットM6をしっかりと締付けます。

指定の位置にない場合は再度調整を行ってから締付けてください。

この時、サイドフレームと脚セットの左右の間隔が均等になっているかを確認してください。

3. 前/中間/後の⑮ベースゴム及び可動ベースがルーフ面の傾斜になじんでいるかを確認し、「組立て方法2」で仮組付けの状態にしてある⑯キャップボルトM8をしっかりと締付けます。

4. ⑮前用取付けフック⑮中間用取付けフックはA部を指で押えながら、均等にしっかりと締付け、

⑮後用取付けフックは取付け穴のフック引っ掛け金具にフックの先端を引っ掛けて⑯丸ネジセットM6にて、均等にしっかりと締付けます。〔図-8〕

この時、⑮後用脚セットの可動ベースの据わりを確認してください。変に傾いた状態で締付けるとポティーを变形させる恐れがあるので、十分に注意してください。

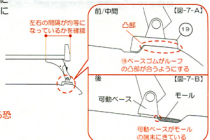
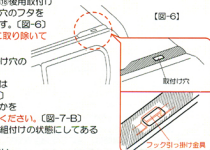
5. キャリア取付け後、⑰塩ビテープを必要な長さにカットして⑱脚フレームのスライド穴を塞いでください。〔図-9〕

△注意 ⑰塩ビテープは風切音防止の為必ず貼ってください。

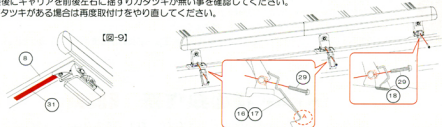
6. 最後にキャリアを前後左右に揺すりガタツキが無い事を確認してください。ガタツキがある場合は再度取付けをやり直してください。

【図-5】

【図-6】



【図-8】



△注意 長尺物を積載した状態でバックドアは絶対に開けないでください。
バックドアのガラス面が当たり破損の原因になります。

シグナルマークについて

- シグナルマークは危険のレベルを表します。それぞれのマークの内容をよくご理解頂いた上で、必ず記載の注意事項を守ってください。

- △危険 — 取扱いを誤った場合に、死亡、重傷の危険が発生します。
- △警告 — 取扱いを誤った場合に、死亡、重傷の危険が発生する可能性があります。
- △注意 — 取扱いを誤った場合に、軽傷を負うか、物的損害を負う危険が発生する可能性があります。

積載物について

- △注意 * 最大積載量は 60 kg までですから、過積載しないでください。
車種によっては、60 kg 未満でも屋根が変形する場合がありますので、強度に応じて荷物を積載してください。
- △注意 * 本製品は、荷物用の積載です。次の物は積載しないでください。
(スキー板、ストック、スノーボード、サーフボード、自転車、コンテナ、ウィンドサーフボード
ボール、ブーム、ボート、カヌー、カヤック等)
- △注意 * 下記の大きさを越える物は積載しないでください。

品番	積載物の制限 (長さx幅x高さ)
SA-16	230~1800x1070x600

取扱い上の注意

- △警告 * 初期コルミが発生しますので、初回 30 キロ走行後には必ず各締め付け部を増締めしてください。
- △警告 * 走行前には、必ず各締め付け部にコルミが無いか点検してください。
● 締め付け部にコルミがあると、思わぬ脱落事故を起こします。
- △警告 * 走行中にキャリアのガタツキ等の異常音が聞こえた場合は速やかに停車しキャリアの状態を確認してください。
- △警告 * キャリアの装着時は、特に法定速度を守り、急加速・急ブレーキ・急ハンドル等の過酷な運転は避け、悪路では徐行してください。● キャリアがスリ等、危険な状態に変化することがあります。
- △注意 * キャリアの昇降時には、過度な衝撃を絶対に与えないよう十分注意してゆっくりと静かに昇降してください。
- △注意 * キャリアの装着又積載時は車両の全長が長くなり、また地上高も高くなるため、車両をバックさせる場合や高さ制限のある所を通行する場合は、十分に注意してください。

保管方法・保守について

- △注意 * 本体とネジ類の防錆処理を市販の防錆剤等にて、組立て時及び1カ月に一度は行ってください。
- △注意 * キャリアを保管する場合はきれいに清掃し防錆処理を行った上で湿気の無い所で保管してください。
- △注意 * キャリアの表面にキズ等が付きましたら、その部分からサビが発生することがありますので、タッチペン等で補修してください。

◆ 部品交換について

部品を破損・紛失された場合は、ご使用のキャリアの品番及び「本書」の構成パーツ表の各部品名にて、お買い求めの販売店又は、弊社までお問い合わせください。

事故が起きた時は

製品の欠陥などにより万が一事故が発生した場合は速やかに販売店または当社までご連絡ください。

事故対応をスムーズに行うためにも、お客様に以下のことをご留意して頂く必要があります。

- (1) 事故製品の確保…事故発生時のままの状態のもの（製品をバラしたりしない）
- (2) 損害の内容…損害を受けた現物、また、損害を証明できるもの
- (3) 事故発生状況…日時、場所、事故発生状況、公共機関への届出
(事故・紛失届) (いつ・どこで・何が・どのように)

* お客様の誤った組立て、取付け、使用による事故等の責任は一切負いかねますのでご了承ください。

株式会社 横山製作所 **ROCKY**

〒463-0081 名古屋市長守区川宮町190 TEL 052-794-1325
FAX 052-791-2403

http://www.rocky.ne.jp Mail: rocky@rocky.ne.jp